

## Voice

## 女性委員会と冒険学校

冒険学校の始まりは、結婚しても子どもができて山登り、を謳っている女性委員会と  
いうか、労山の女性達の山に行きたいという声に「子どもを預かるから山に行っておいで～」  
ということでした。救助隊や教育遭対部の方々に安全確保の依頼をし、出来立ての葛川森林  
組合のキャンプ場を利用し、白滝谷をメインにした沢登りの企画であり「昔の人になったみ  
たい」と草鞋をつけて最後の滝まで遡上し、大人も子どもも命からがらになって遊びました。

が、十数年の経過に、世情の変化や商業ベースの行事の台頭、安全確保とケガや事故対応  
等多くの課題も見えてきて、いったん休止となりました。

「早く再開してくれないとうちの子どもはもうすぐ中学生になる～」など再開が待たれた  
時期を経て現在のような連盟主催の冒険学校となりました。

現在も草鞋つけて沢遊びを楽しんでいますが、再開後は自分で作ってみよう！が加わり  
ました。しかしながら時間の余裕のなさやスタッフも草鞋づくりの経験がないためいつも半  
端に終わっていました。が、今回は草鞋づくりの熟練者の女性委員スタッフによる事前講習  
があり他のスタッフも要領つかんだことで、参加者の「せんせ～い」の声に応えることがで  
きました。時間的に片足分しか編み上げることができませんでしたがそれでも満足した方  
(大人も子どもも)が大勢でした。

かつての女性委員会のメンバーが保護者として参加、比較的新しいクラブの方がおこさ  
んと一緒に参加したり…世代を超えて受け継がれている冒険学校です。今後は山や自然の楽  
しさを伝えていける行事・次世代の登山家が育っていく行事になればと願っています。